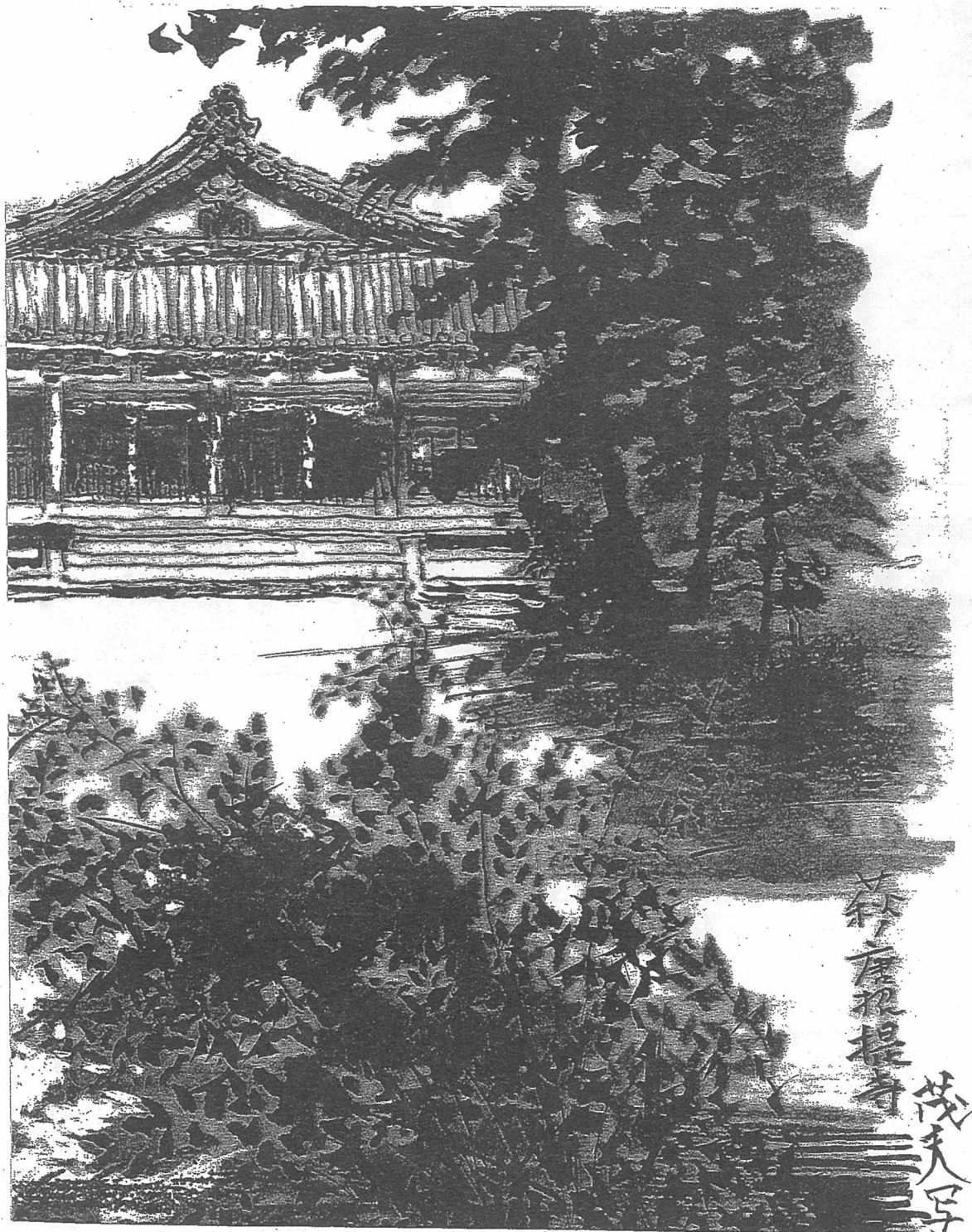


(公民館だより)

広報 ひがしの

No.148
2015. 11.15

人口 1732 人
(男) 845 人
(女) 887 人
世帯数戸
615 世帯
(H27.11.1 現在)



墨絵による 萩ノ唐招提寺
楽しい墨絵の会 吉村 茂夫 画

平成27年度東野文化祭

11月1日(日)～3日(火)までの3日間に渡り、平成二十七年東野文化祭が実施されました。

今年も、小学校・こども園、東雲会、墨絵の会さんはじめ、12の団体と個人4名から延べ人数で182名300点を超す作品を出展頂くことができました。

1日には、ロビーで東野食改・恵那市健康推進課さんが健康生活に関連した展示と相談コーナーを実施頂き、恵那農高園芸科学科の皆さんが、昨年に引き続き、小学校で「シクラメン講演会」の開催とロビーでの展示をして下さいました。

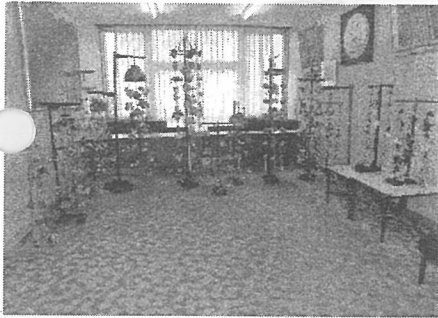
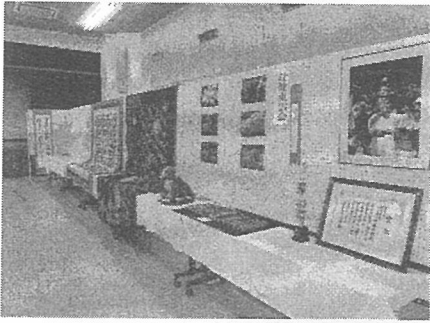
3日には、主に子ども向けのイベントを開催、東野お話し会「ちちんぷい」の皆さんが、紙芝居と絵本を熱演。「虹の会」さんによる餅つき、綿かしコーナーにと多くの子ども達で賑わいました。

地域の皆様に支えられ、盛況に開催することが出来ましこと、感謝申し上げます。

開発振興会役員の皆様、自治連代表の方、各団体の代表者の方々、会場準備から片付けまで、ご協力頂きましたこと、本当にありがとうございました。

展示会場の様子。

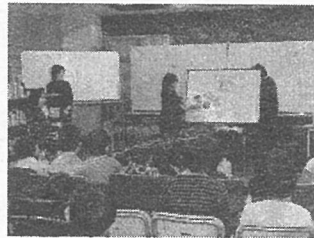
どれも素晴らしい作品ばかりで、目と心の保養になりました。



イベントの様子！



よいしょよいしょ
じょうずにつけたかな



楽しい紙芝居と絵本
みんな聞き入っていました



恵那農高園芸科学科
今年も参加ありがとうございました。

特別展

「戦後70年に関連した展示」

・「東野の五輪塔」

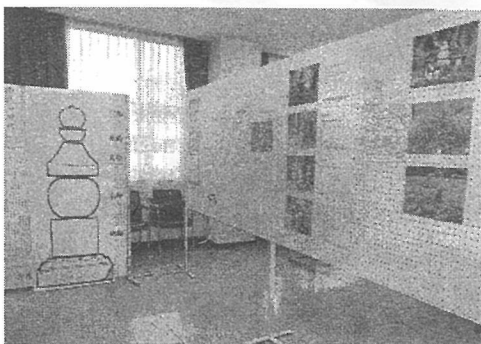
今年の特別展は、二つの企画をしました。

一つは、平成二十七年が「戦後七十年」の節目の年となることより、戦後七十年に関連した資料展示。

もう一つは、「東野の五輪塔」に関連した調査が概ね終了したことに伴う、地域の五輪塔の紹介と解説を実施しました。

ご遺族の方より寄稿文を、また皆様から貴重な資料をお借りし展示。

年配の方々は「開戦ならびに終戦の詔勅」や「戦地での日記」「軍帽」などに見入り、当時の苦労話をしていただきました。



20周年記念
東野ふれあい音楽祭
十一月一日(日)

20周年を迎えた「東野ふれあい音楽祭」小学校体育館が満席となる360名もの方に来場頂き、大盛況の音楽祭となりました。気づかれた方もあったかと思いますが、ステージの看板も新調されました。

毎年、地域の皆様に、日頃生で接する機会の少ない一流の音楽家をゲストにお招きして開催しておりますが、今年は記念の年として、情熱的な男性ボーカリスト「ケン・バルデイス」さん・シャンソン界の第一人者「加藤 えい子」さん、伴奏には素晴らしい演奏技術でおなじみの「伊藤 昌司トリオ」の皆さんの豪華ゲストをお招きしました。

地元からは、恒例の東野小学校5・6年生の合唱と合奏に加え、恵那南高校吹奏楽部の皆さんが参加してくれました。

プロの音楽家の魅了的な歌声に酔いしれ、小学生の一所懸命な姿に感動を覚え、高校生の軽快な演奏には聴衆の皆さんが手拍子で盛り上がっていました。

最後は、「青い山脈」を恵那南高校吹奏楽部の伴奏で全員合唱。

20周年にふさわしい、音楽祭となりました。



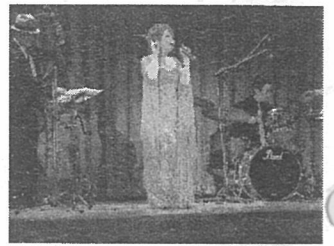
恵那南高校吹奏楽部



東野小学校5・6年生



ケン・バルデイスさん



加藤 えい子さん

東野歌舞伎公演

10月25日(日)東野小学校体育館にて、東野の伝統文化「歌舞伎」公演が行われました。

東野住民を初め、地域外からも多くの観客が集まり、大盛況の中「大井文楽」「こども歌舞伎」「保存会の皆さん」の熱演が上演されました。

熱演に、大きな拍手とおひねりが飛び交いました。

皆さんお楽しみの「お目見えだんまり」では、振興会役員さん、小学校の先生に消防団長など7名が出演。やじと喝采の中、皆さん自分の生い立ちや思いをユーモア交え語られました。

来場者は味ご飯やおでんに舌鼓し、公演の最後には、もち投げもあり、芸術の秋の一日を満喫しました。

保存会の皆さんには、地域の伝統文化を守って頂き、ありがとうございます。



文芸

○花無山文化祭句会

・こども園跳箱低く運動会
市川 芳子

・夫の忌の墓前に灯り菊日和
内木 伊都子

・在りし日のままの遺影や菊の供華
西尾 美恵子

・枯尾花母の遺せし句集かな
松本 はるか

・村挙げて伝承歌舞伎幕開く
千藤 恵三

○サークル短歌

・現し世は何処どこへ行く幻か
鈴木喜一郎

・列島は晴れとマークが並ぶゆえ
あの児の七つのお祝いに
幻の孫尋ねてゆかむ
市川 茂子

・あちこちの畦に案山子が立っている
少し賑やか姫栗の地は
草刈り姿の案山子立ちおり
赤尾 袈夫

・竜胆を空に透かせて写したり
御嶽山の噴煙立つ日
峠越え採りたる秋草束ねつつ
午後一本のバスを待ちたり

・峠越え採りたる秋草束ねつつ
午後一本のバスを待ちたり

地域の話題・行事

東野住民ふれあい体育祭

10月18日(日)夏のようない日差しの中、第40回目にあたる「ふれあい体育祭」が盛大に開催されました。

天候に恵まれたことも有り、例年以上に多くの住民の方が参加。延べ人数で77人と地域住民のおよそ半数の方が参加下さいました。

綱引きやムカデ競争等に熱戦が繰り広げられ、ひやひやりレーや打上回収などで会場は大変な盛り上がり、昼食時のアトラクションにも大声援が送られました。

締めくくりは、恒例の紅白リレー。

小学生から大人まで、東野の章駄天達が精一杯にグラウンドを駆け抜けました。

地域住民が一堂に会する機会が少なくなっています。

これから、より多くの人に参加し易い競技を工夫していただき、今後地域のお祭りの一環として続けていけると良いですね。

運営にあられた自治連合会・体協・振興会の皆さん、それにご協力いただいた東野小学校の皆さんご苦勞様でした。



東野音頭
多くの小学生達も参加してくれました。



大会のフィナーレ
紅白リレー



打ち上げ回収
夫婦の共同作業、うまく入るかな？

東野小学校・こども園運動会 9月19日(土)

今年のスローガンは「全力・協力・笑顔」

夏休み前から、みんな一所懸命に練習を頑張りました。来賓や父兄の前で、練習の成果を披露してくれました。

1・2年生は逆上がり、3・4年生は一輪車、5・6年生は組み立て体操、また、こども園の親子競技。

夏休みや放課後に頑張った練習していた姿を見ているだけに、どこか心打たれるものがあります。

特に、応援合戦や組み立て体操は全員の心が一つに成らないと出来ないことです。見ていて、目頭が熱くなって来ました。

スローガン通りの素晴らしい運動会でした。

6年生には、最後の運動会。

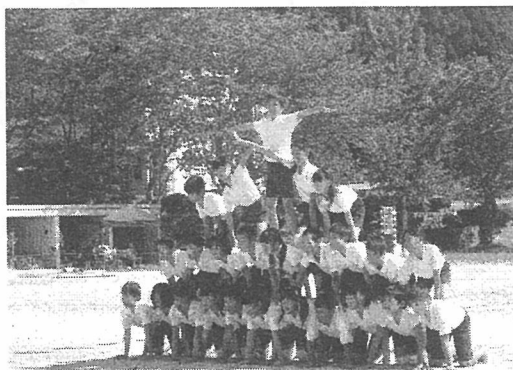
東野小学校で頑張ったこと、いつまでも忘れないで下さい。

シクラメン葉組体験

10月15日(木) 東野小学校3年生から5年生30名が恵那農高にてシクラメンの葉組体験をしました。

この取組は、東野が「シクラメン栽培発祥の地」であることと欲恵を子ども達にも知っておいて欲しいとの思いから、昨年より恵那農高園芸科学科の協力を得て実施しています。

体験に先立ち、農高生よりシクラメンのこと、葉組することの重要性を学び取組ました。



東野敬老会

9月21日(祝・敬老の日)

開発振興会主催の敬老会が開催されました。

当日は、来賓を含む100名余りが参加。伊藤振興会長の祝辞に始まり、地域の発展に寄与された皆さまの長寿をお祝いしました。

来賓として古屋代議士と可知市長より祝辞を頂きましたが、可知市長は健康作りのために毎日歩くことを日課にしていることを話され、古屋代議士はクラリネットを持参され、「故郷」を参加者の前で披露されました。

アトラクションでは、歌とベリータンスが披露され、ベリータンスが始めると、男性の皆さんは鼻の下を伸ばしながら、ご満喫の様子。

これからも、元気で長生きをして頂きたいと思います。



古屋代議士



伊藤振興会長

市民三学東野委員会

9月17日(木) 東野塾の研修にて「東山道信濃路と国宝松本城を訪ねる旅」を実施しました。

地域の方40名に参加頂き、行きの車内で事前勉強会をし、「牛伏寺」と「松本城」を見学しました。

歴史的な建造物や仏像を拝見し、有意義な一日となりました。

今後、三学委員会では、皆様に多くの学びの場を提供して行きたいと思います。

壮健東雲会

11月6日(金)、万場グランド入り口と大門交差点の2ヶ所の花壇に、パンジーと葉ボタンを植えて頂きました。

どちらも、地域の主要道沿いにあるため、道行く人々の目を和ませて頂き、また地域の景観作りに貢献されています。

毎年春と秋に実施されており、一昨年には、県の連合会から表彰も受けて見えます。いつも地域のために貢献頂き、ありがとうございます。



大門交差点花壇

わさび農園にて記念撮影



東野体協

コーナー

○第42回東野住民ソフトボール大会

日時 11月1日(日) 午前8時開会式

場所 東野小学校グランド

例年、ソフトボール大会は、前年度の成績上位分団と下位分団の組み合わせ合同チームによりチーム編成を行い、トーナメント方式で地域の親睦交流を目的に試合として行っています。本年度も4チームを編成しましたが、参加チームの人数が集まりませんでしたので急ぎよオープン参加で1試合に変更し、約40名の参加を得て開催いたしました。

参加した選手からは、「日ごろの運動不足を痛感した」「もつと多くの住民の参加があるとよい」「勝負にこだわらないので気楽にできる」といった感想が聞かれました。

○第40回東野住民ふれあい体育祭

久しぶりに天気の良い秋晴れの中で大会でした。多くの住民の参加の中で大きなけがもなく、無事に終わることができました。体協としては種目競技の運営全般を任されて滞りなく実施することができました。体協理事並びに推進委員の皆様のご協力で実施できたことを感謝申し上げます。なお、来年も楽しい体育祭ができるよう振興会、自治連合会と協力してまいります。



ソフトボール大会
西尾会長開会挨拶

城ヶ峰神社 三百年の歴史

東野は藩政時代、岩村藩に属し、東野一村として、加藤氏歴代が、この地を統治していました。

東野の林野については、藩主の囲い山とされる事無く、百姓山として共同利用が認められ、庄屋、組頭、百姓総代の管理のもと村中入会地として利用されていました。

昔は、今の様に化学肥料が無かったため、百姓は山の草を刈って田畑の肥やしにしていました。山の草は、大切な肥やしだったので。しかしながら、江戸時代には境界のはっきりした山が少なく、初めの内は大体の境界で良かったのですが、百姓が山の草で田畑を耕す事に熱心になって来ると、大体の境界では争いになってしまったのです。

藩政時代(千六百八十四年〜千六百八十六年)まで正家村との間に入会林野の境界の争いが起き、又千六百九十七年には、飯沼村との山争いが起きました。

今から、三百年前、正徳五年(千七百十五年)の一月の事です。東野の孫九郎と言う百姓が、白坂と茄子川の境の「水の手」と言う所で柴刈りをしている、茄子川の百姓達がやって来て、ここはわしらの山だから出て行けと、山争が始まり、茄子川の味方に、釜戸や久々利や方々の床屋が付いて応援をしました。

東野は、岩村藩の殿様が納めている土地で、茄子川、大井、釜戸、正家は尾張の殿様や將軍様の直接の家来(旗本)が納めている所で、岩村藩の殿様より位が上でしたので、話し合いのまとめ様がありませんでした。

茄子川、久々利、釜戸の床屋達は、江戸の奉行所へ「水の手山や、その奥の山は茄子川のものだ」と申し立てたため、今度は、東野と茄子川とが話し合っって地図を作ろうとしても、大変な食い違い

があり、地図は出来ませんでした。東野と茄子川の人は、鑑定所へ呼び出されて、地図の出来ない訳を聞かれましたが、意見の合った地図は出来なかったため、伊予守の家で待に立ち会ってもらい、地図を作る事となりました。意見の違うところは、山に行っってはつきりさせる事とし、江戸の役人の立ち会いにより、地図で問題になっている、水の手、水洞、丸草山、北山、西山などを調べている時、矢立ての水が無くなり、役人が「どこか水の出る所は無いか」と聞いた。茄子川の人は、水野の出る所を知らなかったが、東野の人は知っていて、水を汲んで来た。この事が、境を決める有利な証拠となり、江戸での裁判で、東野と茄子川の境の地図が渡され、結果、茄子川の人々には不満があった様ですが、その地図に従い、手貝塚、水の手山、洞口、低峰、水洞口、東別当、平沢、天日岩、トコサベ、九草横川、ヨキドの十一ヶ所に杭を打ち、今の境界は、大体この時に決まったものです。

笠松へ幕府の代官が出張して来ている所へ行ったりしたので、費用が非常に多くかかりましたが、村の代表の努力により、山の境が決まり、境に錠がかかる様に願って、錠ヶ峰に石堂を建て、尾船久々能知之神(木の神様)彦狭知之神(開拓の神様)を祭り、現在に至っています。

古書に錠ヶ峰と記されも、後世に至り、城ヶ峰と改め、今日に至る。

山争いより三百年の節目を迎え

東野生産森林組合 組合長 千藤 重明



十月十一日(土)

三百年祭が、東野生産森林組合主催のもと、振興会役員さん、歴代組合長さんにも参列いただき、挙行されました。

両島橋完成式

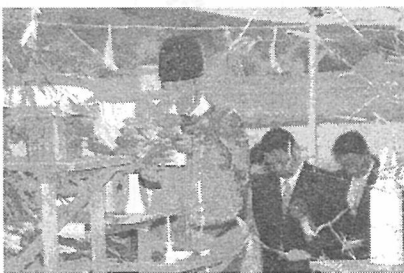
十月一日(木)市道袖笠作線の両島橋が完成し、記念の完成式が挙行されました。

当日は、市長をはじめとした行政関係者、地元各団体長、こども園・小学校に地域の多くの皆さん参列の元、厳かに神事が執り行われ、引き続き完成したての真新しい橋の渡り初めを行いました。

三世代渡り初めは、宮の前の西尾義夫さんご家族に務めて頂きました。

昨年は、下橋戸橋の完成式が行われ、市道の拡幅工事も活況となっています。来年度中には、清水白坂線も含み向島から東野駅前までの間が完成予定です。

東野を南北に縦断する幹線道路の拡幅で、地域の交通安全と活性化に結びつくものと早期の完成を楽しみにしています。



東野まちづくり委員会

福祉部会福祉講演会

『災害時の命をどう守るか』

『防災協働社会をめざして』

講師 防災士 岩井 慶次氏



今日からやってみましょう!!

「買い置き備蓄」の方法について
買い物のときに・・・。

◎お米でも、お味噌、お塩でも、
いつでも1袋分は封の開いてないものを「買い置き」しておく。

◎今使っている袋のものがなくなったら、買い置きしておいた分の袋を開けて、その時点で買い足しておく。

◆これだけです。優先順位の高いもので日常の消費が多いものは2袋、3袋と買い置きしておきましょう。

10月28日福祉講演会を開催しました。

講師の岩井慶次さんは恵那市防災研究会会長でもあり、県の防災リーダー育成講座の講師を務めながら地域の自主防災組織の重要性を説いてみえます。東日本大震災発生直後には、災害ボランティア活動が円滑に行えるように積極的な働きかけを行い、現在も自ら全国各地の災害現場で精力的に災害ボランティア活動を行って見えます。

住んでいる土地の特徴や「昔、ここで土砂崩れがあった」など過去の災害をどのように後世に伝承していくかが重要。昨年7月に土石流が発生した南木曽町は、昔から土砂災害が多い地域で、今でも災害現場の跡には『蛇抜け（じゃぬけ）の碑』や『悲しめる乙女の像』などが過去の教訓として目に見える形で大切に残されているというお話でした。

講演会では、9月に発生した茨城県常総市の豪雨水害現場でのボランティア活動から現場の状況の画像を見ながら説明を受けました。この水害で岩井さんが感じたことは、

- ◆早めの避難をして特別警報は避難所で聞こう！
 - ◆自分たちが情報を集め、早めの避難をすることが大切
 - ◆あらかじめ※DIGや逃げ道マップをやり、街歩きを行い検証しておくことが必要
 - ◆市町村を越えての避難行動がとれるように近隣のネットワークづくりが必要
- このほか、どのような備えをすればよいかを教えてくださいました。

※DIG: Disaster(災害)、Imagination(想像力)、Game(ゲーム)の略

ふれあいサロンシロヤシオ 災害時の身の処し方 第2弾!!災害時の食作り

11月10日(火)東野コミュニティセンター調理室で災害時に役立つ調理方法について学びました。

桐山智子さんには、食材をポリ袋に入れ、鍋のお湯で加熱する「バッククッキング」という調理法を教えてくださいました



- ・ごはん
- ・カレー
- ・かぼちゃの甘煮
- ・ひじきと大豆の煮物
- ・切り干し大根
- ・肉じゃが
- ・蒸しパン

ポリ袋に入れて作りました



土方紀代子さんには「漬物塩」を使った野菜の簡単調理法を教えてくださいました。

標語を募集中です!!

東野まちづくり委員会ならびに交通安全協会東野支部では、市道袖畑笠作線ならびに清水白坂線の改修工事の完成に合わせ、広く地域の皆様から「青少年の健全育成」と「交通安全」に関する標語を募集中です。

詳しくは、10月15日号の広報とともに全戸に応募用紙を配布させていただきましたが、コミュニティセンターロビーにも応募用紙と応募用の箱が用意してあります。

締切は、12月15日(火)です。多くの皆様からの応募をお待ちしております。

コミュニティセンターから 年末・年始休業日のお知らせ

振興事務所の休業日

12月26日(土)から

1月3日(日)まで

公民館の休館予定日

12月27日(日)から

1月4日(月)まで

※公民館については、変更の場合もあります。

12月27日～1月3日までは、振興事務所・公民館ともに休業となります。ご不便をお掛けしますが、よろしくお願いします。

なお、葬儀の関係で告知放送が必要な場合は、市役所にて死亡届けを提出される時に、告知放送をお願いしたい旨申し出下さい。

振興事務所職員に連絡が入り、対応します。

公民館よりお知らせ

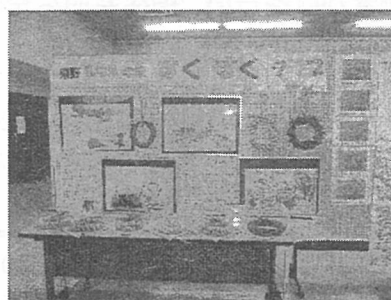
すくすくクラブ(乳幼児学級)

毎月第二木曜日に、コミュニティセンターを拠点とし、親子9組22名で活動しています。

10月28日(水)は、東野こども園の「お部屋さんごっこ」に参加、こども園のお兄ちゃん・お姉ちゃんと一緒に、買い物や遊戯にと楽しい一時を過ごしました。

文化祭では、子どもさんの書いた絵とお母さんの作ったクラフトのリースを展示しました。

一緒に活動いただける乳幼児親子の方、随時募集中です。



八社巡り

「新春 東野八社巡り」を

平成28年も

1月1日に行います。

特に広報はいたしません、参加を希望される方は、下記の日程にてお越し下さい。

1. 日時

平成28年1月1日(元旦)

午後1時30分出发

1. 集合

東野コミュニティセンター

※お賽銭と飲み物をお持ち下さい。

編集あとがき

秋も深まり、日増しに冬の訪れを感じる様になって来ました。後一ヶ月余りで新しい年の訪れ、また一つ年齢を重ねることになります。

「文化祭」も終わり、「ホタル祭り」に始まった地域の主立った行事も、「夏祭り」、「体育祭」、「歌舞伎公演」にと、例年に無いほど多くの人の参加があり、大盛況の中、実施出来たと思います。

話は変わって、毎回「あとがき」に何を書こうかと悩む訳ですが、今回はテレビドラマのことを書いて見たいと思います。

最近楽しみにしている番組があります。①「あさが来た」②「下町ロケット」そして③「コウノドリ」の3つの番組です。

①と②は、夢に向かって、どんな困難にも負けず、小さな物が大きな物に立ち向かって行く熱い思いが描かれたもの。③は出産における様々なトラブルや人間模様を描いた番組です。

「あさが来た」の主人公のモデル「広岡浅子」は、女性実業家の先駆者で、数々の困難を乗り越え、日本で初めての女子大学を創設しましたが、その座右の銘は「九転十起」と「七転八起」を越え、どんなに転んでも何度でも起き上がる。そんな生き方だった様です。

「下町ロケット」は、佃製作所と言う町工場が、自分たちの作った部品でロケットを飛ばすため、大企業に立ち向かって行く物語ですが、こんな台詞があります。「おとなが夢を持って何が悪い」「どんな難問にも、必ず答えはある!挑戦すれば必ず答えは出せる。たとえ、夢がかなわなくても、挑戦したこと得られる物が必ずある」見ていて、感動と共感が得られます。

「コウノドリ」妊娠・出産のさまざまなリスクや危険の中、奇跡的な「命」の誕生が描かれ、男性から見ても、家族の絆や命の大切さを思い出させます。時には皆さんも、テレビドラマに感動するのも良いです。